

第14回平和祈念展示資料館に関するアドバイザリーボード議事要旨

1 日 時：平成26年6月12日（木）10：00～12：00

2 場 所：新宿住友ビル47階 スカイルームNo. 4
新宿区西新宿2-6-1

3 出席者：（委員）

兼川 真紀（弁護士）

◎ 亀井 昭宏（早稲田大学名誉教授）

○ 黒沢 文貴（東京女子大学現代教養学部教授）

斎藤 靖二（神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館長）

榊 誠（公益財団法人あしたの日本を創る協会理事長）

高山 正也（独立行政法人国立公文書館フェロー）

名越 健郎（拓殖大学海外事情研究所教授）

[敬称略、◎は座長、○は座長代理]

（総務省）

田家 修 官房審議官

加瀬 徳幸 管理室長

磯崎 肇 企画官

4 議事次第

（1）会の開催・運営について

（2）座長選出、座長代理指名

（3）資料館視察

（4）「平和祈念展示資料館の概要について」の説明

（5）平成26年度平和祈念展示資料館委託事業のポイントについて

（6）平成26年度平和祈念展示資料館事業実施計画について

5 議事要旨

（1）会の開催・運営について

資料に基づき、事務局から説明が行われた。

（2）座長選出、座長代理指名

事務局からの構成員紹介に続き、互選により亀井委員が座長に選任され、亀井座長から黒沢委員が座長代理に指名された。

(3) 資料館視察

資料館を視察し、運営状況等について説明が行われた。

(4) 「平和祈念展示資料館の概要について」の説明

資料2に基づき、事務局から説明が行われた。

(5) 平成26年度平和祈念展示資料館委託事業のポイントについて

資料3に基づき、事務局から説明が行われた。

(6) 平成26年度平和祈念展示資料館事業実施計画について

26年度事業者から説明が行われた。

委員の主な発言等は以下のとおり。

- 解説員の展示解説はキャプションに書いていないことの説明もあり、理解が深まった。しかし解説員に頼んでみたいと思っても、時間がかかることでためらう場合も多いだろう。音声ガイドなどがあれば、個人のペースで自由に見学できるので、良いのではないか。
- 常設展示にある「収容日誌」「引揚手帳」等の資料について、中に書かれている内容も、キャプションに加えたらどうか。来館者に、どういうことがあったのかという実感がより湧くのではないか。
- 地方の博物館などは友の会を組織し、学芸員がその友の会を指導する形で、ボランティアに博物館活動を手伝ってもらうこともある。大学生のグループなどを呼び込んで、若い世代の来館者を増やす工夫を委託事業者を考えさせてもいいかもしれない。
- 展示について、実物資料を展示し続けることは劣化を促進する。貴重なコレクションだと思うので、媒体変換を進めるなど、資料保存としての対応策も考えておかなければならない。
- 資料について、体験者が減っていく中で、その体験を活字や映像などできちんと記録にとどめておくことが重要だと思う。
- ロシアにも抑留関係の博物館がある。そういったものに規模やインパクトで比肩しうるような歴史を大事にした資料館を目指して欲しい。